

製品名: CD1D マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82714**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	37.7kDa

抗原情報

遺伝子名	CD1D
別名	R3; CD1A; R3G1
遺伝子 ID	912.0
SwissProt ID	P15813
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD1D (AA: 追加 20-301) の精製された組み換え断片。

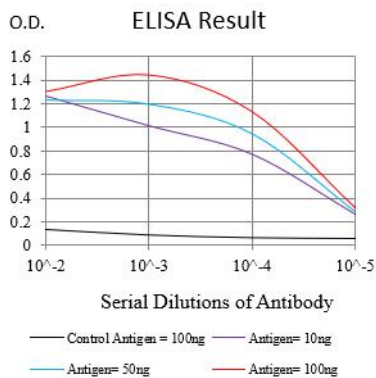
背景

この遺伝子は、膜貫通糖タンパク質 CD1 ファミリーの異なるメンバーをコードします。CD1 ファミリーは構造的に主要組織適合遺伝子複合体 (MHC) タンパク質と関連し、 β 2 ミクログロブリンとヘテロ二量体を形成します。CD1 タンパク質は、主に自己または微

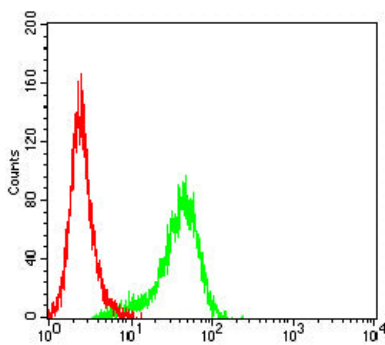
生物由来の脂質抗原および糖脂質抗原を T細胞に提示する役割を果たします。ヒトゲノムには、1 番染色体上にクラスター状に配列した 5つの CD1 ファミリー遺伝子が含まれています。CD1 ファミリーのメンバーは、細胞内局在および特定の脂質リガンドに対する特異性が異なると考えられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞質末端のチロシンをベースとしたモチーフを介して後期エンドソームおよびリソソームに局在します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2つの転写バリエーションが見つかっています。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD1D マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。